

第5回 ジブリパーク構想地域連携協議会 議事概要

日 時：2023年12月27日（水）
午後1時から午後2時まで
場 所：本庁舎6階正庁

<開会>

【司会（愛知県政策企画局長）】

定刻となりましたので、「第5回ジブリパーク構想地域連携協議会」を開催いたします。

本日はお忙しい中、御出席いただき、誠にありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、愛知県政策企画局長の沼澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、本協議会の会長であります、大村知事より御挨拶を申し上げます。

<挨拶>

【愛知県知事】

皆さん、こんにちは。愛知県知事の大村秀章です。

第5回ジブリパーク構想地域連携協議会の開会にあたり、一言、御挨拶を申し上げます。

本日は御多用の中、御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。ジブリパークの整備、そして運営につきまして、日頃から格別の御理解、御協力、御支援をいただいておりますことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、ジブリパークが昨年11月1日にオープンいたしまして、1年が経ちましたけれども、お客さんも途切れずに、国内そして海外からも多くの皆様に来ていただき、楽しんでいただいております。また、この11月1日には、「もののけの里」エリアをオープンさせていただき、好況を博しております。

そして、来年の3月16日には、一番大きな「魔女の谷」エリアがオープンし、フルオープンということになります。それに向けて、開園前内覧会を企画しておりますが、3月6日（水）と10日（日）は一般のお客さんを全国から募集させていただき、多くの方に御応募をいただいたところです。

年が明けて1月10日（水）からは、3月16日（土）以降のチケットを販売開始いたします。以前は、3ヶ月前からチケットの販売を開始しておりましたが、2ヶ月前からの販売とさせていただき、いよいよチケット販売が始まります。

3月16日（土）に「魔女の谷」エリアがオープンしフルオープンいたしますと、来園者の方は更に多くなり、1日で全エリアを見るのは不可能に近いと思いますので、何度もお越しいただくことになるか、午前中から午後5時の閉園までずっと居ていただく方が増えるのではないかと思います。

したがって、今後は、愛知県内に宿泊し、県内各地の観光スポットに足を延ばす方も、これまで以上に増えていくと期待しております。

県外や海外の方に本県の魅力をもっと知っていただき、愛知のファンを増やしたいと思っております。

ぜひとも、沿線各市、また関連する地域の皆様とタッグを組んで、このチャンスを活かして県内各地で様々な化学反応を起こし、地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

本日はそのための、言わば作戦会議ですので、皆様からの忌憚のない御意見をいろいろと頂戴し、この会議を触媒として、ジブリパークの効果を、迅速かつ広く深く、浸透させていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

実りの多い会議にしたいと思っておりますので、御協力のほど、何卒よろしくお願いを申し上げます。

【司会（愛知県政策企画局長）】

ありがとうございました。

本日の御出席者の皆様につきましては、お手元の出席者名簿にて、御紹介に代えさせていただきます。

それでは、ここからの議事進行につきましては、会長であります、大村知事にお願いいたします。

<議題>

【愛知県知事】

それでは、議事を進めてまいります。

議題の「ジブリパーク開園後の変化と周辺地域活性化に向けた対応について」でございます。

まずは、資料1から5について、事務局から簡潔に説明してください。

【事務局（愛知県政策企画局ジブリパーク推進課）】

愛知県ジブリパーク推進課の水野でございます。

それでは、お手元の資料1「ジブリパーク開園後の「愛・地球博記念公園」来園者の変化について」をご覧ください。

こちらは、ジブリパークのある愛・地球博記念公園の来園者のデータを、ジブリパーク開園前後で比較したものでございます。

まず、「1 公園来園者数の変化」でございます。ジブリパークが開園した2022年11月から2023年10月までの愛・地球博記念公園の1年間の来園者数は、推計で約261万人であり、開園前と比べて大幅に増加いたしております。

次に、「2 公園来園者属性の変化」のうち「(1) 国内からの来園者」についてでございます。こちらは、電気通信事業者であるKDDIに委託し、au端末契約者のうち位置情報取得許諾者のデータをもとに、公園に3時間以上滞在した来園者の推計数値を算出したものでございます。

ジブリパーク開園前の2018年11月から2019年10月までと開園後の2022年11月から2023年10月までの男女比率を比較しますと、開園後は女性の比率が大幅に増加しており、右上のグラフにありますように、年代別では20代女性が大幅に増加しております。

また、来園者の居住地割合をみますと、開園後は県外からの来園者が大幅に増加しており、これをジブリパーク来園者に限ると、県外からの来園者比率はさらに高まるものと推察されます。

次に、「(2) 海外からの来園者」でございます。こちらはナビタイムジャパン社が提供する訪日外国人向けアプリ「JAPAN TRAVEL」の利用者データをもとに、ジブリパーク開園前の2019年4月から9月までと開園後の2023年4月から9月までの、来園者の国籍別割合を比較したものです。

右下のグラフにありますように、ジブリパーク開園後は米国を始めとする非アジア圏の来園者が大幅に増加しております。

1枚おめくりいただきまして、資料2をご覧ください。

こちらは、昨年11月のジブリパーク開園以降、リニモ愛・地球博記念公園駅の半径10km圏で整備等が進んでいる宿泊施設の状況でございます。

地図の右上にある「ホテルルートイン尾張瀬戸駅前」と、その下の「ウッドデザインパーク瀬戸」の2施設は、既に営業を開始しており、その他の4施設は、来年以降、開業を予定している施設となっております。

また、地図の下に記載しております「猿投温泉ホテル金泉閣」と「ホテルトヨタキャッスル」の2施設では、ジブリパークの開園以降、愛・地球博記念公園行きの直通バスが運行されております。

このように、愛・地球博記念公園の周辺では、ジブリパークの開園後、民間における経済活動も活発になってきております。

1枚おめくりいただきまして、資料3をご覧ください。

こちらは、「魔女の谷」開園後のチケット体系についてでございます。

来年3月16日の「魔女の谷」開園により、ジブリパーク全5エリアが開園することに伴い、これまでエリアごとに販売していたチケット体系を一新し、ジブリパークを一体のものとして楽しんでもいただける、新しいチケット体系に変更いたします。

エリアの拡大により、来園者数の増加が見込まれるほか、「魔女の谷」が、当日に限り、再入場可能なエリアとなり、来園者の滞在時間も増加すると見込まれることから、県内への宿泊や周遊観光もこれまで以上に増加するものと見込んでおります。

1枚おめくりいただきまして、資料4をご覧ください。

こちらは、愛・地球博記念公園の公園施設の充実についてでございます。

ジブリパークのチケットを持っていない来園者の皆様にもスタジオジブリ作品の世界観を楽しんでもいただけるよう、今年8月に「猫の城遊具」の供用を開始するなど、これまでも公園施設の充実を図ってきておりますが、さらに、来年3月には、「魔女の

谷のみえる展望台」を供用開始するとともに、「APM ネコバス」を運行開始する予定であり、長く滞在しても、そして何度訪れても楽しめる場所へと、公園全体の魅力も大きくグレードアップしてまいります。

1枚おめぐりいただきまして、資料5をご覧ください。

こちらは、「魔女の谷」開園時の歓迎装飾についてでございます。

昨年度の3エリア開園時には、交通事業者や各市町の皆様にお力添えをいただき、交通アクセス上の結節点や各市町の街路等におきまして、ジブリパークをイメージした歓迎装飾を実施いたしました。

現地での様子をお聞きしたところ、通りかかった多くの方が、この歓迎装飾の前で写真撮影をしたり、足を止めて話題にされているということで、歓迎ムードの創出や賑わいづくりの面で大きな効果があったと、高く評価していただいております。

このため、「魔女の谷」開園に合わせ、新たなキービジュアルも活用し、来年1月中を目途に、装飾のリニューアルを実施してまいりたいと考えております。

事務局からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

【愛知県知事】

ただ今、事務局から資料1から5について説明がありましたが、御質問、御意見等があれば御発言をお願いいたします。

よろしいでしょうか。この後、皆さんに順番に御発言いただきますので、その後に自由に意見交換ができればと思います。

それでは、名古屋市の中田副市長さんから瀬戸市、豊田市、日進市、長久手市、その後、岡崎市さんから順番に御発言をお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。中田副市長さんよろしくお願いいたします。

【名古屋市副市長】

名古屋市中田でございます。よろしくお願いいたします。

資料6-1を御覧いただきたいと思っております。名古屋市のジブリパークに関する取組状況について、御説明を申し上げます。

まず初めに、情報発信の取組でございますが、本市の施設、それから情報媒体を活用した情報発信・PRということで、公式観光情報サイト「名古屋コンシェルジュ」というものを持っておりますが、そこでジブリパーク紹介ページの開設やSNSによる情報発信、また、観光案内所が名古屋市内に3カ所、名古屋駅、栄、金山にございますので、そこでチラシの配架をしているところでございます。

公式情報観光サイト「名古屋コンシェルジュ」におきましては、ジブリパーク第1期開園時の2022年と「もののけの里」開園時の2023年で、それぞれ11月のアクセス数をその前の半年間の1か月当たり平均と比べてみますと、約2割増加しておりますので、ジブリパークの動きに合わせてアクセス数が増えていると考えている次第でございます。

また、観光案内所にいらっしゃる欧米やオーストラリアの外国人の来訪者数が、コ

コロナ前の 2019 年は年間 6,051 人でしたが、2023 年は 4 月から 9 月までの半年間で 10,356 人となっており、これを年間ベースに直すと 2 万人ぐらいになりますので、コロナ前の約 3.5 倍の人がいらっしやっており、ジブリパークの影響が出ていると考えている次第でございます。先ほどの国籍別割合ではそんなに多くありませんでしたが、観光案内所にいらっしやるジブリパークのチケットを持った方は、フランスの方が多というの、現場の肌感覚で思っているということでございます。その他にも、名東区内やクルーズ名古屋などでも取組をさせていただいております。

それから、コラボポスターの作成でございます。ジブリパークの開業を契機とした周遊観光促進として、今回、3 月 16 日の「魔女の谷」開園に合わせて、市バス・地下鉄一日乗車券を販売しようと思っております。資料に掲載しているのは、開園時に作成した一日乗車券とポスターであり、これと同じようなものを来年 3 月に作っていきたいと考えております。ジブリパーク開園時に記念乗車券を 2 万枚発行したところ、約 1 ヶ月で完売しており、非常に人気が高いものでございますので、次回も同じような状況になるのではないかと考えております。

それから、インバウンド向け旅行商品の造成、販売でございます。これは、ジブリパーク観光を周辺市町村の皆さんと一緒に実施していこうということで、実行委員会を設立し、色々なツアーを実施しているものでございます。例えば、名古屋城夏祭り和本丸御殿夜間特別拝観をジブリパークとセットにしたツアーなどを行っております。実績として、正確な数字を掴んでいるわけではありませんが、旅行業者に個別にヒアリングを行いますと、入場券付きの市内宿泊プランの利用は、2023 年の年間で 5 万人泊程度になるのではないかとということをお聞きしており、宿泊客 1 人当たりの平均観光消費額が約 3 万円であるため、約 15 億円の観光消費に繋がっているのではないかと考えている次第でございます。

それから、藤が丘駅周辺のまちづくりの取組でございます。一つ目は、藤が丘大文化祭の開催ということで、地元商店街が中心となり、毎年 11 月 3 日に、ジブリ映画のテーマソングをコーラスで歌う等のイベントを一緒に行っているものでございます。また、関連の商品として、「リニモどらやき」を開発、販売したりなど、直接的ではありませんが、ジブリパークができたことを契機として、藤が丘の街づくりをみんな考えようという機運が盛り上がり、「まちづくり基本構想」の策定ということも行っている次第でございます。

最後に本市施設の改善ということで、地下鉄藤が丘駅に冷房付きの待合室を作りましたので、観光客の皆さんに使っていただければと思っている次第でございます。

今後も皆様と共に、ジブリパークを盛り上げていくことができるよう名古屋市としても頑張りたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。瀬戸市さんお願ひいたします。

【瀬戸市長】

はい。瀬戸市の川本でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず、ジブリパーク開園後の動きといたしまして、開園を契機として宿泊施設ができました。また、体験型施設が中心市街地にオープンするなど、新たな人の流れが生まれています。特に外国の方も増えてきていると感じているところでございます。

資料6-2をご覧くださいまして、ジブリパークのPR・瀬戸市の魅力発信といたしまして、「ジブリパークのある愛知」のロゴマークを活用したPRグッズを作成し、ジブリパークと瀬戸市のPRを実施しているところでございます。また、バナー広告といたしまして、「となりの瀬戸市」等による中心市街地の賑わいの創出をしております。令和6年3月のフルオープンの時期に合わせまして、新たなデザインで設置を予定しているところでございます。

それから、観光関連事業といたしましては、ジブリの世界感を反映した観光コンテンツの作成として、昨年度に引き続きまして、人気企画であります「おもてなし観光タクシーツアー」を実施しているところであり、またジブリの世界観をイメージした「かわいいミニチュアの食器づくり体験」が女性に大変人気でございます。また、市内に宿泊された方を対象にいたしまして、お得に市内を回遊できる「街めぐりクーポンBOOK」を作りまして、市内への誘客に取り組んでいるところでございます。

これからも色々なアイデアを駆使して取り組んでいきたいと思っております。引き続き、ジブリパークを意識しつつ、地域の活性化を図っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【愛知県知事】

ありがとうございました。豊田市さんお願いいたします。

【豊田市副市長】

はい。豊田市の副市長の安田でございます。

豊田市の取組について説明させていただきます。資料6-3に基づいて説明させていただきます。

令和4年5月12日に豊田市ジブリパーク来訪者おもてなし協議会を、商工会議所さん、ツーリズムとよた、そして豊田市が事務局となって設立いたしまして、その中で様々な活動を展開してきております。

1点目のコンテンツ事業です。ここに例示がありますが、「松平郷天下泰平の竹明かり」イベント、このようなものを随時開催させていただき、ここと連携しながらジブリパークにというような形で取組をさせていただくとともに、ジブリパークからアクセスしやすい観光スポットやものづくり体験事業等を掲載したパンフレットを作成させていただき、PRに努めているところであります。

2点目、オンデマンド・タクシーの試行事業ですが、豊田市の中心市街地の宿泊施設とジブリパーク間を結ぶ送迎補助ということで、タクシーを運行する試行事業でございます。

3点目、啓発事業ですが、ポスター、懸垂幕等を市庁舎や商工会議所、バナーは、名鉄豊田市駅と愛環新豊田駅の間や駅前通りに掲示させていただいております。

そして、情報発信・イベント参加ということで、ホームページ等を用いて積極的な

情報発信をしているところであります。

市独自の取組として、「となりのとよた割」ということで、もともと市内の消費喚起事業として、「とよた宿割」を実施しております。それに「となりのとよた割」をプラスし、ジブリパーク来園者の誘客を図っており、ジブリパークのチケットをフロントで提出していただくと、地域で活用できる1,000円分のクーポン券を受け取れるということで、ジブリパークと豊田市が連携できる形にしております。実績といたしまして、令和4年度が664件、令和5年度は、5月8日から10月末時点で897件、11月末時点で1,112件活用していただいております。「となりのとよた割」については、令和6年1月31日まで継続実施という形にしております。

もう1個、「いこまいる とよた」の実施ということで、こちらはツーリズムとよたの会員制ウェブサービス事業でございますけれども、観光スポットやイベントを訪れると、観光ポイント「いこまいる」が貯まるということで、こちらも活用しながらジブリパークとの連携を図ってまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

【愛知県知事】

ありがとうございます。続きまして、日進市さんお願いいたします。

【日進市長】

日進市の市長の近藤裕貴でございます。どうぞよろしくお願ひします。

資料6-4に基づいて説明させていただきます。まず、ジブリパーク第2期オープンに係る事業展開でございますが、10月の末に、私どものにしん観光まちづくり協会と愛知学院大学さんとで、大学祭との事業コラボということで、夜間プロジェクションマッピングを開催しました。2日間で約9,000人に来場いただいております。日進市には、5大学が立地しておりますが、全ての大学において、これから、学生さんだけのお祭りではなく、市民の人も多く御来場するような雰囲気のものにしていこう、或いは、外から来られる方も気軽に大学祭を訪れることができるようなものにしていこうということで、今年は愛知県さんの補助金も賜りながら、そういうことに挑戦をし、日進市の文化に繋げていきたいなと思っております。ジブリパークに来られた外国の方が、日本の大学でお祭りをやっているらしいが、どんなものか1回行こうと立ち寄っていただくことも目指していきたいと思っております。

また、市内飲食店を盛り上げるため、スマートフォンを使用したデジタルスタンプラリーも、この年末にかけて実施中であります。

続きまして、もともと、名古屋商科大学の学生さん達が大学に通うために、赤池駅と大学を往復しているバスを、市民の方も乗せてもらえないかとお願ひして、それが叶い、さらに、せっかくジブリパークがあるので、赤池駅から名古屋商科大学を通り公園西駅、ジブリパークまでバスで行けるというものです。土日を中心に運行しており「ゆっくりきてください。」というジブリパークのコンセプトにも、バスは非常にいいなと思っております。現在調整中ではありますが、「魔女の谷」エリアが開園する頃に合わせて、ジブリパークのラッピングバスにしていこうということを考えているところでございます。

それから、赤池駅に地元の不動産業者が展開しようとしているワンダーズホテルもオープンする予定であり、宿泊に関しては、さらに面白い取組をこれからやっていきたいと思っております。例えば、ツリーハウスのような感じで木の上に寝床を作り、宿泊できるような、そういうことも含めて面白い取組を考えていこうということを進めている最中でございます。

それから、体験の一つとして、「旧市川家住宅での鋳物づくり体験」ということで、映画『もののけ姫』に登場する昔の製鉄所タタラ場を思わせる雰囲気にして、日進市にある鋳造メーカーの中央可鍛工業の方々と連携し、鋳物を遊びながら作るような体験を考えております。

令和7年には、道の駅まちテラス日進というものが開業を予定しておりますので、道の駅ができたあかつきには、ジブリパークさんと連携したイベントも実施しながら盛り上げていきたいなということと、来年は日進市政30周年を迎えますので、一緒になってジブリパークと日進市を盛り上げていきたいと考えております。説明は以上でございます。ありがとうございました。

【愛知県知事】

ありがとうございました。続きまして、長久手市さんお願いいたします。

【長久手市長】

長久手市の市長の佐藤有美です。よろしくお願ひいたします。

長久手市では、第2期の開園に向けて、より一層、ジブリパークをPRし、親しみや愛着を持ってもらうための取り組みを進めております。

資料6-5の上半分を御覧ください。一つ目は、第2期オープンに向けたジブリパークPR事業です。具体的には、今年7月に東海テレビの特別番組、「おんこちしん ようこそジブリパーク」の上映会を行いました。ジブリパークのこだわりを知る機会となり、来場者からは何度も足を運び、隅々まで見て楽しみたいなどの声をいただきました。

また、市広報でジブリパークの特集記事を掲載し、「もののけの里」や「猫の城遊具」等の紹介を行いました。観光交流協会のホームページでは、新たにジブリパークの特集ページを掲載し、ジブリパークと合わせて長久手市内を周遊してもらえよう、観光客に向けPRを行っています。

資料の左下をご覧ください。

二つ目は、第2期オープンに向けたシティドレッシングを予定しています。具体的には、市内幹線道路の連続照明に新たなバナーの設置。東名高速道路の橋梁を利用して、ジブリパークのある愛知長久手市をPRする横断幕の設置を、どちらも来年2月下旬頃に予定しています。市内外の方々に対し、ジブリパークのある愛知長久手市のPRに努めていきたいと考えています。

最後は、子供に向けたジブリパークPR事業です。スタジオジブリの鈴木敏夫プロデューサーに描いていただいた「子どもの絵」を親子健康手帳の表紙に活用するとともに、この絵を用いたタペストリーを保育園などの市内子育て施設に提出しておりま

す。また、スタジオジブリ作品に親しんでもらうため、市内の小学校や保育園、児童館等の児童関連施設にジブリのアニメ絵本を配布しました。

今後ともジブリパークのある愛知長久手市として、愛知県とともにジブリパークを支え、盛り上げていきたいと思っております。以上、長久手市からの報告とさせていただきます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。それでは、岡崎市さんから順次お願いいたします。

【岡崎市長】

はい。岡崎市の中根でございます。

来年以降、ジブリパークとの連携は、岡崎市にとって極めて重要なことだと考えております。

本市では、ジブリパークの開園に先立ち、大村知事に御出席いただき、愛知環状鉄道のジブリパークラッピング車両の出発式を開催させていただきました。

その後、ジブリパークが開園し、多くの方が来場して大いに盛り上がりを見せていること、県内自治体として大変嬉しく思っております。

岡崎市におきましては、今年は何と言っても、大河ドラマ「どうする家康」の1年ではありました。先日放送された最終回におきましては、大村知事におかれましても、パブリックビューイングに御臨席を賜りまして、ありがとうございました。

家康公と瀬名姫を囲む三河武士達が、えびすくいを晴れやかに舞う岡崎城から、はるか遠くに、現代の東京の街並みを臨むラストシーンで締めくくられた最終回でありました。まさに、260年に続く太平の世は岡崎から始まった、江戸のルーツが岡崎であるということ全国の視聴者の皆様に印象付けたのではないかと考えております。

本市では、大河ドラマによる知名度向上と誘客効果を持続させるため、来年以降も家康公に因んだ様々な取組を実施してまいります。いよいよ「魔女の谷」が開園することとなったジブリパークとの相乗効果を生み出していくことが、最も大切なことだと思っております。

また、本市の北東部には、ジブリの世界観を彷彿とさせる豊かな自然環境が残り、鮎めし街道やかき氷街道などで、多くの方が訪れる中山間地域のオクオカ、岡崎の奥座敷というものがございます。

「魔女の谷」の完成により、いよいよ3月に第2期エリアまでが完全オープンとなるジブリパークには、これまで以上の集客が見込まれますし、岡崎からも多くの方が訪れるよう広報してまいりたいと思っております。

県外より多くの方が訪れるジブリパークから、家康公の故郷、そして、江戸のふるさとである岡崎へ、ジブリパークのラッピングをされた愛知環状鉄道などを利用して訪れていただければと考えております。

また、ジブリパークの持つ魅力が、さらに広いエリアへ波及し、県内の周遊観光を促すよう、周辺地域においてジブリの世界観を楽しめるような、サテライト会場のようなものを検討される際には、本市としても、連携して協力できればと考えておりま

す。岡崎市からは、以上でございます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。続きまして、春日井市さんお願いいたします。

【春日井市長】

春日井市の石黒です。よろしく申し上げます。

公共施設、情報媒体を活用した PR としましては、子ども施設、文化施設、スポーツ施設などでチラシ、パンフレット、ポスターの掲示を行い、また、JR 春日井駅では、大型のデジタルサイネージでジブリパークの PR をしております。

それから、県外からも誘客を期待するところで、今年は、札幌丘珠と県営名古屋空港が就航いたしまして、4月から11月までの平均の搭乗率が約80%となっています。北海道札幌から愛知に80%の搭乗率で来ているということで、私も札幌の商工会議所に行って PR をし、札幌商工会議所に行きますとジブリパークのポスターが貼ってあります。こういったところで、県営名古屋空港経由で愛知に来てもらうことも進めているところであります。

この他には、木曾川上流の長野県の木曾広域連合と言いますけども、木祖村、木曾町、南木曾町等々の、町村長のもとにも行ってまいりまして、それぞれの町村でもジブリパークを PR してもらうということで、信州から愛知へ来てもらう、このような取組をしました。

最後に、先ほど海外からの来園者の国の割合が出ており、カナダは6%ということでしたが、姉妹都市がカナダのブリティッシュ・コロンビア州にあり、そちらの姉妹都市協会の方にも、愛知にジブリパークができたので、日本に来たときには是非ジブリパークに寄ってくださいと、そのような PR をしたところであり、これからもジブリパークの魅力を県内にかかわらず、県外にも大きく広く周知していきたいと思えます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。続きまして、尾張旭市さんお願いいたします。

【尾張旭市長】

尾張旭市の柴田でございます。この会議、私にとりましては、初めての参加となります。市長就任後、早々にロゴマークの名刺を作らせていただきまして、活用させていただいております。

ジブリパークが開園してから約1年、本市においても様々な取組を行っております。

資料6-6をご覧ください。先月には、市役所1階ロビーで「ジブリパークのある愛知」のロゴを入れたオリジナルポスターやパンフレットと県からお借りしたパネル4枚を活用し、パネル展を実施いたしました。これは、来庁者に第2期エリアの開園や、県民デーのチケット情報について周知を行ったものであります。わずか4日間で95枚のパンフレットが無くなり、市民のジブリパークの関心の高さを感じたところであ

ります。

また、本市には、地上 55 メートルの高さから 360 度見渡せる展望施設であるスカイワードあさひがあります。ここからは、南東の方向にジブリパークを望むことができ、展望室にロゴマークやポスターを設置し、来場者に PR する取組も始めました。今後も様々な形で周知を図ってまいりたいと思います。

来年3月に新エリア「魔女の谷」が開園し、フルオープンということで、益々楽しさ溢れるジブリパークになるものと考えております。本市におきましては、来年4月から第6次となる総合計画が始まります。これまで本市が築いてきた暮らしやすさに、さらに楽しさを加えるというチャレンジングな方針を盛り込んでおります。ジブリパークのフルオープンによるこの地域の盛り上がりは、この楽しさを加える取組の大きな後押しになると期待をしております。

今後も、皆様とともに、世界に誇るジブリパークを盛り上げ、楽しく笑顔溢れる地域にできるよう精一杯取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いをいたします。本市からは以上でございます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。続きまして、みよし市さんお願いいたします。

【みよし市長】

はい。よろしくお願いいたします。みよしの小山祐です。

まず始めに、先日、県外からある団体の方が朝一でお見えになり、何時に出発されたかを聞いたところ、前日にジブリパークに行きましたという話をされ、非常に楽しかったということで、それが目的なのではないかと思うぐらい盛り上がっていた。そういった意味で、県外の方にも広く周知されていると実感いたしましたし、関東に試合に行かれる親子が出場報告のために表敬訪問で市役所にお越しになった際は、「ラーケーションを使ってジブリパークに行った」と言われており、県内外問わず認知が高まっているのではないかと実感しております。

みよし市といたしまして、歓迎装飾の関係で取組を申し上げさせていただきます。まず、イベント等の実施といたしましては、市立図書館の中で特集コーナーを設置させていただきます。2月22日から3月28日までということになりますが、愛知県さんからお借りしますパネルを4枚展示させていただき、期間中に1回入替を行いますので、2回に分けてパネル展示をさせていただきます。それから、ジブリ関連書籍とDVDの紹介をする特設コーナーを作らせていただき、また、「魔女の谷」のポスターの掲出、チラシの配布という事を市立図書館で実施させていただきます。まずは、今年度ということですが、来年度も取組をさせていただきます。

それから、公共交通についての取組ということで、継続ではありますが、昨年からコミュニティーバスの中で動画を放映させていただいておりますので、今年度、可能であれば来年度も許可をいただければ動画の放映を続けていきたいと思っております。

それから、ロゴマーク等デザインを用いた取組の実施ということで、市の観光ガイ

ドブックを年間 4500 枚配布しておりますが、ロゴマークを入れさせていただき、イベント等で配布をしておりますクリアファイルにつきましても、全てのクリアファイルにロゴマークを入れさせていただくことを予定しております。

その他の取組として、市役所を始めとした公共施設、ビジターセンター、市民病院、市内の全保育園、幼稚園等々の 22 ヶ所ありますが、そこにポスターの掲示やチラシを配架させていただきます。年明けになります。市役所 1 階の市民課窓口の所にサインージ看板がありますので、県から許可をいただければ動画を放映させていただきたいと考えております。また、市内にイオンがありますので、イオンさんの中で一番子供連れが多いフードコートにある掲示板でも同様に動画を放映させていただきたいと考えております。

【愛知県知事】

ありがとうございました。続きまして、鉄道事業者の方ですね。まずは、愛知環状鉄道株式会社の平田社長からお願いいたします。

【愛知環状鉄道株式会社】

いつもお世話になっております。愛知環状鉄道の平田でございます。

昨年 11 月のジブリパーク開園に際しましては、県の事業といたしまして、ジブリパークをイメージしたラッピング車両の導入、八草駅の装飾などを実施していただき、これによりまして、ジブリパークへ向かうワクワク感を醸成できたものと考えております。

当社としましては、八草駅で開園を祝した一日フリー乗車券を販売し、特典として「愛環で来てね。」の缶バッジを配布し、好評をいただきました。

開園後の輸送の特徴といたしましては、最寄り駅の八草までの学校等の団体利用が増えております。これは、県において子ども枠を設定し、ジブリパークへの遠足等での受け入れをしていただいている中、ラッピング車両や駅の装飾の効果もあって、当社線を利用していただいた学校があるものと考えております。

第 2 期エリアのオープンに向けましては、11 月 1 日から「もののけの里」開園に合わせて、一日フリー乗車券をお買い求めの方に、期間限定で缶バッジをプレゼントしております。来年 3 月の「魔女の谷」の開園に向けましては、企画乗車券の造成のほか、県や沿線市と連携し、オープンを盛り上げる取組を検討してまいりたいと思っております。

また、新しいチケット体系に変更となり、来園者の方の来園方法や時間帯に変化が生じることも想定されますので、そうした動きを踏まえつつ、お客様に安心して愛環をご利用いただけるよう、安全輸送、定時運行に努めてまいりたいと思っております。以上でございます。

【愛知県知事】

ありがとうございました。続きまして、愛知高速交通株式会社の横井社長お願いいたします。

【愛知高速交通株式会社】

愛知高速交通社長の横井でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年のジブリパーク開園に伴いまして、藤が丘駅、愛・地球博記念公園駅に、県の方で歓迎装飾を施していただきました。また、車両につきましても、ラッピングをしていただきまして、いずれも多くの方々に大変好評であったということでございます。

利用者の関係でございますが、冒頭に事務局の方からも御紹介いただきましたとおり、来園者数と比例いたしまして、リニモの御利用も非常に増えてございます。特に、海外、県外の方々には、リニモを使ってお越しいただいているということでございます。私、私も夕刻の車両の中に非常にたくさんの海外の方がいらっしゃるというところによく出くわしますので、多くの方に来ていただいているというのを実感している次第でございます。

私どもの取組といたしましては、リニモの一日乗車券を購入された方々に対しまして、今年の11月から来年の2月までの間、オリジナル缶バッジを配布させていただいております。開始から12月26日までの間に、およそ1200個の缶バッジを配布したところでございます。また、「魔女の谷」開園が開園する来年3月16日からは、缶バッジに代わり、クリアファイルの配布を、一日乗車券を購入された方に対して、行ってまいりたいと考えております。具体的には、ジブリパークのラッピング車両の写真を掲載したものでございまして、現在、3000枚の配布を予定しております。

来年3月に「魔女の谷」が開園し、リニモの利用者も一層増えていくことを期待しております。来園者の方々には、安全、安心にご利用いただけますように努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

【愛知県知事】

ありがとうございました。

それでは、何か御意見、御質問等がありましたら、御発言をお願いいたします。

よろしいですか。本日は、皆様からの活発な御発言、御意見をいただきありがとうございました。

年が明けまして、今のジブリパークの4エリア体制を2月13日までやり、そこから1ヶ月くらい休みまして、施設はあれだけの人が来ると結構痛みますので、修繕等をしながら3月16日にフルオープンということで、その間、内覧会をやりまして、先ほど申し上げましたとおり、一般の方は、2日間内覧会を日曜日と平日に全国応募で出しておりますが、メディアの方、県内の団体の方、オフィシャルパートナーさん向けの内覧会も考えております。スタッフの訓練をして、3月16日にグランドオープンということになります。合わせまして、ネコバスを5台作っております。2年前の東京オリンピックで選手を運んだAPMというEVがあります。運転手が1人で5人乗ることができ、それをネコバスに架装したものをトヨタ自動車さんに一生懸命作ってもらっております。5台作って、県が借り上げて、万博公園の森の中の管理道路を走りますが、これも多分凄い人気が出ると思います。これも3月のフルオープンに合わせてスタートとしたいなと思っております。たぶん相当盛り上がると思っております。

ます。ジブリパークに来たお客さんが、引き続き皆さんのより多くのスポットを巡っていただけるように、しっかりと仕掛けをしていきたいと思っておりますので、是非皆様方のご支援をお願い申し上げます。本日の議事は以上でございます。今後も5エリアの開園に合わせまして、皆様の御理解と御支援、御協力をお願いいたします。

<閉会>

【司会（愛知県政策企画局長）】

ありがとうございます。

以上をもちまして、第5回ジブリパーク構想地域連携協議会を閉会させていただきます。

本日は大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございました。